

番号：130670

国名：ミャンマー

担当：人間開発部保健第三課

案件名：主要感染症対策プロジェクトフェーズ2 中間レビュー調査（評価分析）

### 1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 格付：3号～4号
- (3) 業務の種類：調査団参団

### 2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2013年8月中旬から2013年10月下旬まで
- (2) 業務M/M：国内 1.00M/M、現地 0.93M/M、合計 1.93M/M
- (3) 業務日数：

準備期間	現地業務期間	整理期間
10日	28日	10日

### 3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、場所

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：正1部、写4部
- (2) 見積書提出部数：正1部、写1部
- (3) 提出期限：7月31日(12時まで)
- (4) 提出場所：調達部受付（JICA本部1F）

### 4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針：
    - 1) 業務方針の的確性 3点
    - 2) 業務方法の整合性、現実性等 6点
    - 3) 当該業務実施上のバックアップ体制 1点
  - (2) 業務従事者の経験能力等：
    - 1) 類似業務<sup>注1)</sup>の経験 45点
    - 2) 対象国又は同近隣地域若しくは同類似地域<sup>注2)</sup>での業務経験 9点
    - 3) 語学力<sup>注3)</sup> 18点
    - 4) その他学位、資格等 18点
- (計100点)

注1) 類似業務：各種評価調査

注2) 対象国／類似地域：ミャンマー／全途上国

注3) 語学の種類：英語

### 5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：

本調査の対象である技術協力プロジェクトにおいて専門家業務に携わった法人及び個人は本件への参加を認めない。
- (2) 必要予防接種：なし

### 6. 業務の背景

ミャンマー連邦共和国（以下「ミャンマー」）では、3疾病（HIV/エイズ、結核、マラリア）が患者数、死亡数の上位を占め、国民にとっての大きな脅威となっており、「国家保健計画2006-2011」では国内で高罹患率・高死亡率等の視点から42疾病について優先付けをしており、1位はHIV/エイズ、2位はマラリア、3位は結核となっている。かかる状況のもと、JICAはHIV/エイズ、結核、マラリアを対象とし、国家プログラムに関わる行政・医療スタッフの技術力、運営能力の向上を通して各疾患対策を強化し、将来的に罹患率・死亡率を低下させることを目指して、「主要感

染症対策プロジェクト」を2005年1月から5年間実施、2010年1月から2年間延長フェーズを実施した。

上記プロジェクトの活動の結果、安全血液ガイドラインや外部検査精度ガイドラインの策定、結核全国有病率調査の実施、コミュニティベースマラリア対策パッケージの策定等の成果が上がっている。しかしながら、依然として支援を必要としており、ミャンマー政府からフェーズ2協力について日本側に要請があげられた。

かかる状況の下、我が国は、2012年3月から2015年3月までの3年間の予定で「主要感染症対策プロジェクトフェーズ2」（以下、「プロジェクト」）をミャンマー保健省（NAP(National AIDS Program)、NTP(National Tuberculosis Program)、VBDC(Vector Borne Disease Control))をカウンターパート機関として開始した。プロジェクトでは、5名の長期専門家(チーフ・アドバイザー／援助協調、HIVエイズ対策／安全血液、結核対策、マラリア対策、業務調整)を派遣し、(1) HIV/エイズ対策：国家エイズプログラムのうち、輸血を通じたHIV感染の予防やデータ管理能力強化、(2) 結核対策：結核対策に関するプログラム管理及びデータ管理能力強化、「ストップTB戦略」に沿った結核対策実践能力強化、(3) マラリア対策：国家マラリア対策プログラムの実施及びモニタリング実施能力向上を目指した活動を実施している。

プロジェクト開始から1年半が経過したため、今回中間レビュー調査を実施することとなった。中間レビュー調査では、プロジェクト活動の実績、成果を評価、確認するとともに、今後のプロジェクト活動に対する提言及び今後の方向性について確認し、また今後の類似案件実施にあたっての教訓を導くことを目的とする。

## 7. 業務の内容

本業務従事者は、「新 JICA 事業評価ガイドライン第1版」に沿って、プロジェクトの協力について当初計画と活動実績、計画達成状況、評価5項目を確認するために、必要なデータ、情報を収集、整理し、分析する。

具体的担当事項は次のとおりとする。

### (1) 国内準備 (2013年8月中旬～8月下旬)

- 1) 既存の文献、報告書等（事業進捗報告書、業務完了報告書、調整委員会議事録、専門家報告書、活動実績資料等）をレビューし、プロジェクトの実績（投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等）、実施プロセスを整理、分析する。
- 2) 既存のPDMに基づき、プロジェクトの実績、実施プロセス及び評価5項目ごとの調査項目とデータ収集方法、調査方法等を検討し、人間開発部職員等とも協議の上、評価グリッド（案）（和文・英文）を作成する。また、既存のデータ・情報と現地で入手、検証すべき情報を整理する。
- 3) 評価グリッド（案）に基づき、プロジェクト関係者（プロジェクト専門家、C/P 機関、その他ミャンマー側関係機関、他ドナー等）に対する質問票（英文）を作成する。
- 4) 調査団内の検討のため、評価グリッド（案）を用いて評価デザイン（案）を検討する。
- 5) 国内で収集可能なデータを整理・分析する。
- 6) 対処方針会議等に参加し、担当分野について説明を行う。

### (2) 現地派遣 (2013年9月上旬～9月下旬)

- 1) JICA ミャンマー事務所等との打合せに参加する。
- 2) プロジェクト関係者に対して、「新 JICA 事業評価ガイドライン第1版」に基づいた評価手法について説明を行う。
- 3) ミャンマー側 C/P と協議した評価グリッドに基づき、事前に配布した質問票を回収、整理するとともにプロジェクト関係者に対するヒアリング等を行い、プロジェクト実績（投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等）、実施プロセス等に関する情報、データの収集、整理を行う。
- 4) 収集した情報、データを分析し、プロジェクト実績の貢献、阻害要因を抽出する。
- 5) 国内準備並びに上記3)及び4)で得られた結果をもとに、他の調査団員及びミャンマー側 C/P 等とともに評価5項目の観点から評価を行い、評価報告書（案）（英文）の取りまとめを行う。

- 6) 調査結果や他団員及びミャンマー側 C/P 等からのコメント等を踏まえた上で、PDM 及び P0 の修正案（和文・英文）の取りまとめに協力する。
  - 7) 評価報告書（案）に関する協議に参加し、協議を踏まえて同案を修正し、最終版を作成する。
  - 8) 協議議事録（M/M）（英文）の作成に協力する。
  - 9) 現地調査結果の JICA ミャンマー事務所等への報告に参加する。
- (3) 帰国後整理期間（2013 年 10 月上旬～10 月中旬）
- 1) 評価調査結果要約表（案）（和文・英文）を作成する。
  - 2) 帰国報告会に出席し、担当分野に係る報告を行う。
  - 3) 担当分野の調査結果を取りまとめ、中間レビュー調査報告書（案）（和文）の作成に協力する。

## 8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は（1）～（3）のすべてとする。

- (1) 評価報告書（英文）
- (2) 担当分野に係る中間レビュー調査報告書（案）（和文）
- (3) 評価調査結果要約表（案）（和文・英文）

上記（1）～（3）については、電子データをもって提出することとする。

## 9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICA コンサルタント等契約見積書作成の手引き」

(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>) を参照願います。

留意点は以下のとおり。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含めず、当機構より別途支給します（見積書の航空賃及び日当・宿泊料等欄には0円と記載下さい）。

## 10. 特記事項

- (1) 業務日程／執務環境

- 1) 現地業務日程

機構職員等の現地調査期間は2013年9月17日～2013年9月28日頃を予定しています。本業務従事者は、機構職員等の現地調査期間に約2週間半先行して現地調査の開始を予定しています。

- 2) 現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ・ 総括（JICA）
- ・ 技術参与（JICA）
- ・ 協力企画（JICA）
- ・ 評価分析（コンサルタント）

- 3) 便宜供与内容

当機構ミャンマー事務所及びプロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおりです。

- ① 空港送迎  
あり
- ② 宿舍手配  
あり
- ③ 車両借上げ

全行程に対する移動車両の提供（機構職員等の調査期間については、職員等と同乗

することとなります。)

- ④ 通訳備上  
なし
- ⑤ 現地日程のアレンジ  
現地ヒアリング調査のスケジュールアレンジ及び長期専門家及びC/Pの同行
- ⑥ 執務スペースの提供  
プロジェクトオフィス内の執務スペース提供（ネット環境完備）

(2) 参考資料

- 1) プロジェクト基本情報は当機構ナレッジサイトで公開されています。
- 2) 本業務に関する以下の資料が当機構図書館のウェブサイトで公開されています。
  - ・ミャンマー連邦共和国 主要感染症対策プロジェクト フェーズ1延長終了時評価調査フェーズ2詳細計画策定調査報告書
- 3) プロジェクトホームページのURLは以下の通りです。
  - ・ <http://www.jica.go.jp/project/myanmar/005/index.html>

(3) その他

- 1) 業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます（冒頭留意事項参照）。
- 2) 臨時会計役の委嘱を行う予定。

以上